

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

信濃町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県上水内郡信濃町

### 3 地域再生計画の区域

長野県上水内郡信濃町の全域

### 4 地域再生計画の目標

信濃町の人口は、1960年の13,703人をピークに減少し続けており、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した方法によると、2040年には5,297人にまで減少すると推計され、合計特殊出生率は平成30年度で1.15と全国の1.42を大きく下まわり、毎年の進学・就職を機会とした若年層の転出は全体転出者の約4割であり、転出超過状態が続いていること等が原因と考えられます。

基幹産業である農業及び観光は高齢化や後継者不足による廃業が多く、近年の観光入込客数は平均89万人で停滞しているなか、人口減少は地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小は住民の経済力の低下につながります。その結果、地域社会の様々な基盤を維持することが困難となります。

このような人口減少が原因となり、地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させるという負の循環を断ち切るため、幅広い年齢層からなる住民を始め、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等が一体となって問題意識を共有し、これまでにない危機感とスピード感を持って、人口減少の克服と信濃町の創生に取り組む必要があります。

人口減少の構造的な課題の解決に当たって重要なのが、負の循環に歯止めをかけ、「まち・ひと・しごと」の好循環を確立する取組です。

都市部に居住する人のうち4割が、仕事等の条件がかなえば地方への移住を希望するとの調査結果（出典：（株）サーベイリサーチセンター「大学生及び社会人の

UJターンに対する意識調査) ) もあります。負の循環を断ち切るには、信濃町に「しごと」をつくり、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立する必要があります。信濃町への新たな人の流れを生み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことで、信濃町に住む全ての人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会をつくり出すことを目指します。

なお、取組みにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げます。

- ・基本目標 1 産業振興による活力ある地域の創造～「元気産業」のまちづくり～
- ・基本目標 2 新しいひとの流れを生み出す地域の創造～「快適定住環境」のまちづくり～
- ・基本目標 3 子育て世代に選ばれる地域の創造～「子ども」が輝くまちづくり～
- ・基本目標 4 次代を見据えた地域の創造～「生涯健康」のまちづくり～

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規起業件数及び新規就農者数(累計)	5件、7名	10件、12名	基本目標 1
イ	転入超過者数(単年度)	△87人	15人	基本目標 2
ウ	子育て支援体制の住民満足度	0.5	0.6	基本目標 3
エ	健康寿命の延伸(平均寿命との差)	1.95歳	1%縮小	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

信濃町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 産業振興による活力ある地域の創造～「元気産業」のまちづくり～事業

イ 新しいひとの流れを生み出す地域の創造～「快適定住環境」のまちづくり～事業

ウ 子育て世代に選ばれる地域の創造～「子ども」が輝くまちづくり～事業

エ 次代を見据えた地域の創造～「生涯健康」のまちづくり～事業

② 事業の内容

ア 産業振興による活力ある地域の創造～「元気産業」のまちづくり～事業

(ア) インバウンド観光拡大による観光産業の振興

近年、信濃町に訪れる外国人観光客が増加しています。特に、ウィンタースポーツを楽しむ層が多いことから、これを中心に人材やWi-Fi、案内看板などを整備し、受入体制を充実させ、観光産業の活性化を目指します。

【具体的なプロジェクト（施策）】

- ・観光・防災Wi-Fiステーション整備事業
- ・留学生インストラクター育成事業 等

(イ) 健康増進による活性化

信濃町の環境・資源を生かし、健康増進事業と観光産業を組み合わせることで、観光産業をはじめとした町内の産業活性化を図ります。

【具体的なプロジェクト（施策）】

- ・ヘルス・ツーリズム推進人材育成事業
- ・健康と癒しの森推進事業
- ・インバウンド着地型観光推進事業 等

(ウ) 持続可能な農業の実現

農業は、信濃町の基幹産業ですが、近年担い手不足が叫ばれています。このため、担い手を育成するとともに農業を持続可能な稼げ

る産業に育てる必要があります。これを実現するため、新規移住就農者の受入れ、生産から販売まで一貫して行える体制を構築します。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・新規移住就農者の総合支援制度の構築
- ・6次産業・地産地消支援事業
- ・活力ある農村支援事業 等

**（エ）新しい就業環境の創出**

地域に仕事がなければ、人は集まりません。ひいては、転出の増加を招きます。そこで、企業誘致、人材育成を通して信濃町に新たな産業を創出します。とくに企業誘致については、すでに野尻地域においてITを軸とした民間企業のサテライトオフィスが開設され、信濃町における新しいライフスタイル発信を行っています。このような動きと連携し、新しい就業環境を創出します。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・IT企業を軸とした企業誘致と若者起業支援
- ・起業家、「第二創業」を目指す経営者、および後継者、幹部の育成
- ・プロフェッショナル人材派遣事業 等

**（オ）広域観光の推進**

北陸新幹線や訪日外国人観光客の増加など、観光客のニーズは一層多様化し、地域の観光を取り巻く状況は転機を迎えています。旅行者の行動範囲にふさわしい、広域的に魅力のある観光の展開を構築していきます。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・広域観光拠点周遊バス
- ・広域によるアウトドア、スポーツイベントの開催 等

**（カ）森林資源の有効活用**

信濃町の7割を占める森林を持続可能な地域資源として捉え、社会、経済、環境に配慮した環境型林業や森林整備を進めるとともに、住宅建築や木製玩具などに活用し、林業の復興や新たな産業の創出

に取り組めます。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・地域産材を活用した住宅建築 等

**イ 新しいひとの流れを生み出す地域の創造～「快適定住環境」のまちづくり～事業**

**(ア) 移住定住の促進**

人口減少を抑制するためには、転出を抑制することのほかに、町外からの移住者を増加させる方法が考えられます。若い世代の移住を促進するため、首都圏をはじめとした都市部居住者へ向けて情報発信や体験プログラムを充実させます。また、姉妹都市との交流を通じた出会いの場の創出など、結婚したい若者の希望を妨げている要因を踏まえた婚活支援事業を実施し、婚姻率、出生率の向上を図ります。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・移住体験事業
- ・ライフスタイル提案型プロモーション事業
- ・雇用促進住宅の建設
- ・地域おこし協力隊事業 等

**(イ) 交流人口増加**

信濃町には観光客のほかに大学の合宿や、イベントなどで様々な人が訪れ、地域の活性化につながっています。これは信濃町の大きな強みであるため、様々な取組により、来訪者（交流人口）を増加させることでさらなる活性化を目指します。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・スポーツ活性化・交流事業
- ・文化資源を活用した観光振興 等

**(ウ) 二地域居住プロジェクト**

信濃町を自分の「ふるさと」だという気持ちを持って貢献したいと考える人と具体的なつながりを築き、その知恵や力をまちづくりに生かします。ふるさと納税者に対しては、単なるモノのやりとりにとどまらず、まちづくりへの参加の機会を保障、必要とされるサービスを

提供により、本来のふるさと納税の意義を高めます。別荘を持つ人が避暑などで信濃町を訪れた際に、地域に溶け込みやすくなる環境を整えます。

【具体的なプロジェクト（施策）】

- ・ふるさと住民票（仮称）の発行検討 等

(エ) ふるさとの魅力発信

町内には大学等の高等教育機関がないため、高等学校を卒業した若い世代が進学にともない町外へ転出しています。これが人口減少の一因となっています。転出した信濃町出身者とのつながりを持ち続けること、また、信濃町の魅力を発信し新しいつながりを創出することで、将来のU I Jターン、交流人口の増加を目指します。

【具体的なプロジェクト（施策）】

- ・「しなのーと」発行事業 等

(オ) 再生可能エネルギーの利活用

町が有するバイオマス(注)資源（森林バイオマス、バイオメタンガス、木質バイオマス等）の活用について、産学官金が一体となって調査研究することにより、自立したエネルギー産業の確立を図ります。あわせて、この新規産業により、人材並びに雇用の確保を図るとともに、自然エネルギーの活用に関する住民意識の向上を図るため、講演会、木育等の啓発事業を展開し、町内への普及を推進します。子育て支援ルーム木育化、信濃町小中学校の内装の木育化等、子育て支援施策や移住定住促進施策への展開も視野に入れて取り組みます。あわせて、農業用水等を活用した小水力発電の実現に向けた調査・研究を行い、持続可能な循環型のまちづくりを進めます。

【具体的なプロジェクト（施策）】

- ・森林バイオマスによるエネルギー自給構想 等

ウ 子育て世代に選ばれる地域の創造～「子ども」が輝くまちづくり～事業

(ア) 出産から子育てへの切れ目ない支援

信濃町の将来を担う子ども達のために、妊娠、出産、子育ての各ステージにおいて、関連機関と連携をして総合的な支援を実施します。

また、母親が働きながら安心して子育てができるよう、多様な保育ニーズに対応したサービスを充実し、子育て世代の負担軽減、支援を実施します。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・ 出産・子育て負担軽減事業
- ・ 在宅保育支援事業 等

**（イ）信濃町ならではの教育の推進**

信濃小中学校を中心に特色ある教育体制を確立し、小中学生と高齢者や交流人口との交流を行い、信濃町に対する愛着をもつ全国に誇れる子ども達を育成します。また、生涯学習の一環として、町民誰もが本に触れることができる環境を整えます。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・ 特色ある教育推進事業
- ・ 読書環境整備事業 等

**エ 次代を見据えた地域の創造～「生涯健康」のまちづくり～事業**

**（ア）住み続けたいまちづくり**

町民の暮らしの「場」である町並みが美しくなければ、信濃町の魅力は半減し、住み続けたいと思う気持ちを弱めてしまいます。また、町外から訪れた人の印象が悪ければ、交流人口、移住者の増加にもつながりません。このため、町並みを整え、信濃町の魅力を増加させるための事業を実施します。また、町並みを整えるためには、行政だけの活動では限界があることから、あわせて町民が活動するための補助を実施します。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・ 特定空き家・看板の撤去費補助制度の創設 等

**（イ）医療体制の充実**

信越病院は信濃町の医療体制の中核を担っていますが、一部の診療科では慢性的な担当医師の不足が起こっているほか、施設の老朽化が進んでいます。将来にわたって安心して暮らすためには、適切に医療を受けられるまちづくりが必要です。このため、信越病院の

新築計画を推進するとともに、地域の医療環境を整備します。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・信越病院の新築計画の推進 等

(ウ) 住民協働のまちづくり

日頃から町民自らが協力し、地域活動に関わることで魅力的な地域を形成することができます。また、地域活動を通じてコミュニティが醸成されることで日常生活、災害時に相互共助にも繋がります。信濃町では、このような地域活動に対して積極的に支援を行います。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・信濃町地域活動支援事業
- ・集落支援員制度の活用 等

(エ) 公共交通の充実

町民の生活に必要な移動を担保するとともに、観光客や来訪者にとって利便性の向上につながる公共交通の充実を図ります。

**【具体的なプロジェクト（施策）】**

- ・交通不便者のニーズにあわせた公共交通網の構築
- ・北しなの線の利用者増加 等

※ なお、詳細は信濃町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

35,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、信濃町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

### 5-3 その他の事業

該当なし

## 6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで